

北川議員

女性の視点からの防災対策について

問 東日本大震災では、避難所での女性用衛生品や乳児のおむつなどの支援物資の不足、女性の更衣室や授乳スペースがないなど、災害時における女性の視点の大切さが改めて浮き彫りになった。当市でも今後防災対策を見直す中、介護や子育ての経験を通して子どもや高齢者、地域のことをきめ細かな視点から見る女性の力を災害時に発揮できる仕組みづくりに取り組んでいただきたい。そこで5点について伺う。

- ① 勝山市防災会議への女性委員の複数登用について
 - ② 防災担当と男女共同参画担当との連携強化について
 - ③ 災害時の後方支援など女性消防団の役割について
 - ④ 女性・子ども・高齢者・障がい者の物資の備蓄について
 - ⑤ 避難所運営訓練（HUG）等の地域防災訓練への導入について
- 答 ① 平成24年度中に勝山市地域防災計画の修正を行う予定であり、この中で女性委員の積極登用を進めていきたい。
- ② 防災担当部局と男女共同参画担

その他の質問
・介護支援ボランティアポイント制度の導入について

当部局との連携を強化していく。
③ 春季・秋季消防訓練では、災害時要援護者の避難支援と応急手当の訓練に参加し災害時に備えている。

④ 陸前高田市での福祉避難所の開設や運営をサポートした際の経験を生かすと共に、他自治体の状況も調査しながら備蓄品の充実を図っていきたい。

⑤ 訓練の指導ができる人材の養成が大切であり、それを踏まえ地域の防災訓練への導入に向けて進めていきたい。



山田議員

来年度予算編成と施政方針について

問 ① 4月から実施した住宅リフォーム助成制度は地域経済への波及効果が大きい。さらに使いやすい制度にすること、地域経済対策の新規計画を問う。

② 緊急雇用で実施した里山間伐事業の取りまとめは、国や県の補助事業を活用して新たな仕事をつくり、山林保全・地域経済に効果があった。このような事業は市単独でも実施すべき。来年度の雇用対策事業の計画を問う。

③ 国や県の補助事業を最大限活用するには、市民からの申請を待つのではなく、市から積極的な働きかけが必要と考えるが、どのような取り組みをする計画か。

④ 9月議会で、水道取り出し工事負担金の見直しを提案したが、いつから実施する予定か。

答 ① 住宅リフォーム促進事業補助金は来年度以降も継続していく。その他の地域経済対策については、新規事業策定及び既存事業の拡充、見直しを進めており、当初予算案説明の際に示す予定。

② 県では来年度の事業計画の選定を行っている。当市も重点分野

その他の質問
・地域間格差と国民格差が地方自治に及ぼす影響と対応策について
・新体育館建設について
・既存資産の有効活用について
・村岡山の遺跡について

として観光、教育、農業関連事業を要望し、緊急雇用創出事業の積極的な活用を図っていく。

③ 補助制度等の情報を常にキャッチし、市民からの要望にあてはまるものがないかなど、調査する姿勢を常に持ちながら業務にあたり、その上でマッチしたものをお伝えすることが市の責務であると認識している。また補助制度を最大限に活用することで、捻出した財源を市民の皆様から要望のあるほかの事業に使えるということから、これまで同様積極的に進めていく。

④ 今後基準を定め、来年度から対応していきたい。

